



第85号
 ■発行者■
 退職校長会 相馬支部
 支部長 高野 敦 夫
 ■印刷者■
 (有)ライト印刷

後期高齢を前にして

副支部長 渡辺 金作



わたしは、現在、民生児童委員としての仕事をしています。自分に務まる仕事なのか不安でしたが、地域の皆さんのお役に少しでも立てばと思い引き受けました。引き受けて二年近くになりますが、勉強になることが多く、引き受けてよかったと思っています。

月に二回ほど、一人暮らしの方を中心に訪ね、お話を聞いたり、会議の中で配られるパンフレットを渡したりして帰ってきます。

高齢の方、特に後期高齢者が多く、回覧板もわたしが四軒ほど回すのをお手

伝いさせていただいています。皆さん喜んでくださいます。わたしの担当地域には、奥様に先立たれた方もいます。皆さん、「寂しいよ。」と話されます。炊事もしなければならぬ。洗濯もしてお風呂も洗う。後期高齢者の皆さんにとつては大変なことです。特に炊事が面倒なようです。何を作るか、何をと考えると、頭がいっぱいになり、心が折れそうになると話します。「金作さん、あなたはいいよ。」と。「奥さんいるからなあ、奥さん大事にしろよ。」と言われます。二人で暮らせることの幸せを感じます。

ただ、今は二人でいますが、一人になつたらと思うと不安が頭をよぎります。昔は長男夫婦と同居し

て、孫もいてということがありましたが、同居してない今、これから先、どうなるだろうと妻と話しています。このような心配ごとが、民生児童委員として地域を回って歩く中で、話に出てきます。

高齢者だけの町になるのかと心配です。東日本大震災後、子どもたちの数も減

稿「これからの教育」

相馬地方小・中学校長協議会会長
 (相馬市立向陽中学校長)

反畑 増生



既にご存じの通り、オックスフォード大学の研究チームは、近い将来、現在存在している職業の半数がAIに取って代わられると予測し、そのニュースは世界に大きな衝撃を与えました。しかし、これに対し、国立情報学研究所教授の新井紀子先生は、「AIは万能ではなく人間の仕事の全てを肩代わりすることは不可能であり、近未来社会に

少し減りました。地域の中で子どもの姿も見られませんが、少しづつ児童・生徒数が増え、震災前のような賑わいと活気のある町になることを願っています。そのためにも、わたしたちにできることは「何か。」を考え、副支部長として皆様のお知恵を借りながら頑張りたいと思います。

人間の仕事全てがAIに代替されるとするのは誤解である。なぜならAIは所詮コンピュータに過ぎず、つまり計算することしかできない。AIの弱点は応用が利かないこと、柔軟性がないうこと、決められた枠でしか計算処理ができないことなどが挙げられる。例えばAIは「AさんはB君が好き」と「B君はAさんが好き」という文章の意味は異なるのですが、構成している単語が一緒なので同じ意味としてとらえてしまう事もある。」という趣旨の発言をしています。

つまり、AIは人間のようには文章をしっかりと読み取ることは困難なのだそう。そうであるならば、今後、子どもたちにとっては、少しとした読解力を身につけさせることが重要です。そのためには日々の授業において、一人一人の生徒にきめ細かく丁寧に教科書をつかりと読み込める力を育てることが何よりも大切だと思います。相馬市教育委員会が現在、最も重点を置いている取組として読解力の向上が挙げられています。読解力とは正に「文章を読んで、その内容を理解する能力」を指します。今後、生徒の読解力を高めていくことにより、さらに進歩を遂げるであろうAIにも負けない生き抜く力を持つた子どもたちをどう学校現場において育てていくかが非常に重要な課題となってくると思います。

私も、退職まで残りわずかとなりましたが、微力ですが最後まで子供達の成長に少しでも寄与できるように全力を尽くしていきたいと思っています。

会津路を行く

午來 勝頭



最近の楽しみは休日のドライブと旅行である。先日は檜枝岐から喜多方へ、紅葉の会津路を旅した。

朝、自宅を出発した時は雨模様だったが、会津には青空が広がっていた。宿泊した南郷のホテルでは、星空観測会が計画されている。彩り鮮やかな夕食と会津の銘酒をいただいた後に外へ。辺りは漆黒の闇と満天の星。南東の空にスバル

を見つけ双眼鏡を覗いた。いつもはぼんやりと見える星々が、キラキラと青白い光を放っていた。勧められるままに天体望遠鏡を覗く。木星の四つの衛星と縞模様、そして土星はその輪まではっきりと見えた。今の時期、土星は地球から約十四億キロメートルの位置にあると言う。私は今、約八十分前に出た土星の光を見ていることになる。果てしない広さの宇宙に吸い込まれそうになりながら夜空を見上げてみると、天上をすうっと流れ星が流れた。

翌日は、寺社巡り。喜多方近くの寺院に予め電話で拝観依頼をしておいた。住職が薬師堂の鍵を開け、小さな灯りをともしてくれた。漏電対策のため堂内には電気を通していないという。本尊は薬師如来像。兩脇侍の日光・月光菩薩像とともに国宝に指定されている。他にも聖観音菩薩像や十一面観音菩薩像、地藏菩薩像等、九軀の仏像が国の重要文化財。いずれも平安初期の作である。当時の日本は、富士山が噴火し、大

地震や大津波等の天災が頻発していたらしい。世の中の平穏を強く念じて彫られたのか、本尊の薬師如来像は柔らかい線のどっしりとした体躯と相反して、表情が凛として厳しい。ここ会津の地で、御仏たちは約千二百年もの昔から人々の生活を静かに見守ってきたのだろうか。長い歴史の流れに圧倒されながら、自分が今の時代に生まれ毎日を平和に過ごしていることに感謝し、両手を合わせた。

めざせ！全国制覇

藤巻 国孝



私は旅をすることが好きで、「退職したら日本中を旅して歩くぞ！」と常々思っていました。現職の頃からもたくさん旅はしていました。目的地の一番の見頃に、しかも混雑しない



時に行けるのはやはり仕事をしていたのは難しく、限られた時間の中で、限られた場所にしか行けませんでした。

退職して最初に行ったのは沖縄です。一番印象に残るのは宮古島の伊良部大橋とコバルトブルーの海、そして白い砂浜です。TVや写真でしか見たことのない景色が、それ以上のインパクトを持って目の前にあるというのに感動しました。

京都には退職後、春に二回、秋に二回の計四回行きました。桜の咲く時期と紅葉する時期を、今年はどうなるのかと様々な情報を集め判断して日程を組みました。幸い四度ともタイムイングの良い時期を当てることができました。東福寺や禅林寺の紅葉、醍醐寺や原谷苑の桜など、「絶景！」としか言葉が出ませんでした。コロナ禍の中で、旅するのがためらいはあったのですが、できる限りの対策

をして出かけました。幸いコロナに感染することはありませんでした。清水寺の近くで京都の景観の象徴ともいえる八坂の塔が見える三年坂は、例年人がごった返して隙間もないという話ですが、コロナ禍で大変空いており、景観をゆっくり堪能できました。

今年になりコロナによる規制が緩和され始めると明らかに観光地が混雑してきました。時には平日なのに「この人波は何だ！」と思うこともしばしばです。しかも人ごみの中で日本語はほとんど聞こえてきません。外国の方には日本の休日でも平日も関係ないのでですね。

振り返ると行っていない県は愛知県、滋賀県、大阪府、鹿児島県の四つになりました。来年はこの四つの府県に行き、全国制覇を成し遂げたいと思っています。



ヘルシー

— healthy —

～ 執筆2巡目連載中～



趣味と実益に生きて

高倉 胤尚



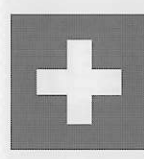
何事をするにも心と身体が健康であって始められるものと考え、毎日の生活は「歩け歩け」からの出発です。畑での野菜作り、庭での草花や菊作りなどでも適度な運動になります。今年の夏は猛暑、ハウスでのトマト収穫は例年の半分程度でした。マンネリにならない

いよう工夫し、手を掛けることが大切です。体力の維持・増進には、週一回のP・Gです。四コースを二時間余りかけてのゲームです。競うことの楽しさがあり

充実感を味わっています。釣りクラブでは年間五、六回の実施。遠くは新潟港までも行きました。今年は大物45cmのアイナメ、ワカサギ二百匹超の釣果あり。

ところで、あの大震災後から青少年赤十字賛助奉仕団の仕事をしています。地区の学校の加盟登録式にかけたり、活動の様子を知らせる団報を発行しています。

研究校の学校公開を視察し、多くの団員との交流ができました。また、令和元年の研修視察「日本赤十字発祥の地を訪ねる旅」(三泊四日熊本・佐賀県)、令和五年の「赤十字の心に生きた医師三上剛太郎を訪ねる旅」(二泊三日青森県)に参加。有意義でした。



少しでもご恩返しができるばと...

星 和彦



退職の前年「3・11」が。退職と同時にスタートしたのが鹿島への恩返しでした。学習センター四年。そこで出会った方々とボランティアを続けてきた。貴重な施設の草刈りを年数ヶ所七、八回作業をする程度だが皆様のすばらしさ知るばかり...

最近、これまでたくさんの方々にお世話になって来たことに気づく。御礼を申し上げる前に亡くなられてしまった方も...。直接できなくても「ご恩返し」の心を大切にする日々を過ごそうと思っている。私は、ジビエを食して育った者です。時には、「黙って食え!」と言われて食べたものも。「二十四の瞳」に憧れて大

学へ。胸を張って報告に行ったら、「お前でなく、別な人に合格して欲しかった。」と。(私は、男だから。)校長になってもたくさんの人に支えられてきた。支えてくださるたくさんの方に「ご恩返し」を願う日々です。



京都の紅葉

青田 富男



紅葉を見に五日間、京都へ行って来ました。混雑を避けるため今年は紅葉拝観の予約を入れました。京都の紅葉ベストスリーに選ばれる東福寺は早朝からの予約でした。去年までの一般参観では混雑で動けない程

でしたが、今年は通天橋から赤や黄色の紅葉をゆっくり堪能しました。

妙心寺大法院(信州真田家の菩提寺)では抹茶を頂きながら紅葉の路地庭が夕日で染まるのを見ました。

下り坂の両側に料亭や旅館の板壁が続くその先に八坂の塔が見える景色も良かったです。京都には多くの木造建物があり、水や灰汁で汚れた板壁や桐箆筒を洗い、本来の木の色を取り戻す職人の洗い屋もいます。早朝に板壁をたわして洗っていたおばあさんを見たこともありました。そして京町屋も古いから壊すのではなく、リフォームして住む人も多いようです。

私はコロナの大流行の三年間を除き、退職後毎年京都へ紅葉を見に行っています。歴史と、石垣やお寺等に映えるのが京都の紅葉の良い所と感じています。



クラブ活動

園芸(庭木)クラブ

渡部 長男

今年度もコロナの影響により、情報交換だけで終えました。

内容は、庭木の剪定・種まき・苗の育て方・定植等々でした。

特に今年度は、ハウス栽培について研修を深めようとしたが、そこまではいきませんでした。

今年は特に高温に襲われ、何もかもが予定通りにはいきませんでした。

ベテラン野菜栽培の人が、「毎年毎年の気温と天気の記録が大切です。その記録に基づいて栽培することがよいのです。」さらに、「野菜づくりは土づくりが大部分を占めるので、土づくりをしっかりすること。」の二点を強調されていました。

来年こそは自然に負けず、庭木の手入れ、野菜の栽培づくりに頑張りたいと思っています。

また、会員相互の連携をより密にしたいと考えています。



俳句クラブ

江井 芳朗

四年にわたる「コロナ禍」もやや低迷気味となり、研修開催を考えたのだが、我々の年齢にとって、抵抗力も少ない現状から危ぶみ、開催を諦めました。紙上で恐縮なのですが、俳句について問題となっている二項目について取り上げ、研修となればと思います。

①季語に制約されないか
何故季語を重視しているのか、それは、日本国の特性にある。四季が均等に三ヶ月ごとに訪れる国は世界中でも珍しい。古来より四

季折々の自然と同化し、親しみ生活している。枕草子の冒頭にも「春は曙、やうやう白くなりゆく山際」と日本の美しさを描写していよう。季節感こそ日本の伝統を踏まえていると言われ、大事にしたいと思う。

同時に自然破壊からくる温暖化現象は、地球規模の大きな問題とされている。自然を大切に作る季語こそ重視したい。

②文学が芸術か、双方を加味した文芸か
文学は人間の生き方、人間性を追求する。芸術は自然等の美しさを追求する。従って種々個性が発揮される。文芸は両者を含めるので広い範囲となる。

現代の俳句は、文芸と言われている。従ってメリツトは、俳句に親しむことによつて自分自身の人間としての生き方、人間性が培われ、無駄のない美しいリズム感、ユーモア感が培われよう。そして個性ある地域性、風土性ある美しさ等の表現法が培われよう。

8月19日



俳句の日

具体的には作品を通して論じ合ってみたい。

パークゴルフクラブ

浜名 俊明

今年度も「親善パークゴルフ大会」を、会員の協力により実施することができました。十一月二日(木)午後東武PG場に於いて、十四名が三十六ホールに挑みました。

その結果は、次の通りです。
(※敬称略)

優勝 梅田 正彰
準優勝 阿部 伸
第三位 浜名 俊明

日頃の練習の成果を十分に発揮することができ、楽しい大会になりました。九十歳の伏見裕方先生にもご参加いただき、ホールインワン賞も取られました。先生には今後もさらに頑張っていただきたいと思っております。

この大会は、次年度も計画します。

画しますので、多くの方々が参加されることを願っています。

また、毎週火・木曜日の午後東武PG場で、有志によるPG練習会を行っています。興味のある方、クラブ員でない方も自由に参加できます。パークゴルフを楽しむことを目的にやっていますので、ぜひ参加をお待ちしています。

本クラブも高齢化が進み、会員数が減少しています。パークゴルフは、年齢に合わせてプレーすることができ、一人でも多く野外での活動の楽しさを味わう会員が増えることを願っています。



2023/11/02

ゴルフクラブ

佐藤 宗信

令和五年度の事業も予定通り終わろうとしています。今年度の優勝者を掲載します。 (※敬称略)

- 四月 (鹿 島) 鈴木孝彦
 - 五月 (宮城野) 遠藤弘通
 - 六月 (鹿 島) 佐藤宗信
 - 七月 (パーシモン) 菅野耕平
 - 八月 (鹿 島) 山下富夫
 - 九月 (宮城野) 西 信一
 - 十月 (鹿 島) 松本安彦
 - 十一月 (宮城野) 松本安彦
- ハンディ戦のため、誰が優勝するか全く分かりません。その日の調子により、順位が大きく変動します。これもゴルフの楽しみです。過日、ある雑誌に「認知症とゴルフ」に関する記事が載っていました。

シニア世代にゴルフを始める前とゴルフを始めてからの調査をしたところ、単語記憶が六・八%、論理的記憶が十一・二%向上したそうです。これは、有酸素運動と認知課題を同時に行なう(運動しながら頭を使う)デュアルタスク運動の効果ではないかとされています。

ました。今後ゴルフを大いに楽しみます。



宮城野ゴルフクラブ

【次年度役員】

会長	菅野 耕平
副会長	大石 力弥
庶務	鎌田 由人
	金谷 哲

囲碁クラブ

大谷 一裕

今年度の年間活動は、次の通りでした。

○囲碁を楽しむ会

毎週水曜日の午後一時から午後四時までの間に、高平生涯学習センターの和室で、会員はもちろん、地域の方々と共に、レベルに合

わせた対局を中心に、楽しく活動してきました。しかし、年々、参加者が少なくなってきました。

○親睦囲碁のつどい

今年度は、コロナの影響がなくなりつつあったので、十一月から十二月頃にかけて、原町区大町交流センターで開催する予定でした。しかし、都合がつかない方が多かったので、年度末になります。二月頃に延期したいと思っています。

○囲碁の普及

当クラブも会員が少なくなってきました。今後、若い年代にも囲碁に興味を持ってもらえるような工夫をしていきたいと思っています。



釣りクラブ

杉浦 伸吉

今年度は、七月仙台港釣り公園、十月松川浦湾内(小舟)、十一月は檜原湖でワ

カサギ釣りを実施しました。

仙台港釣り公園は、ベンチや水道、トイレもあり、家族連れや若者、そして釣り好きの人などが気楽に釣りを楽しめる場所です。

今回は、新人会員も加わり、サバやハゼなど釣れました。が、海水温度が高く予想以上に釣果はなかつかりでした。

松川浦湾内の釣りは、知人(舟所有)に舟を操縦していただきました。暖かく潮風が心地よい日で、湾から陸を見る景色は久しぶりで感動でしたが、午前中は場所を変えてもフグしか釣れず、何本も糸を取られたりして散々でした。

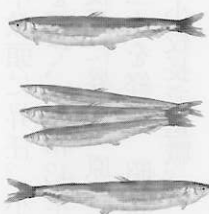
しかし、潮の流れが変わり、風向きも変わった昼過ぎから釣れ始め、四十センチ級のアイナメ二匹、手サイズのカレイやキスの釣果があり、潮の流れの影響の大きさを感しました。

ワカサギ(公魚)釣りは、北塩原村早稲沢の民宿に泊まり、二日間行いました。

この釣りは、檜原湖に浮いている釣り船までボートで運ばれて釣り専用船で行

います。船内は、テーブル椅子で、トイレや石油ストーブもあり、お茶や麺類などを食べ、外の寒さを忘れて楽しむことができます。朝六時から午後三時まで、各自工夫した仕掛けで釣果を求めました。

公魚は、群れが来た時は釣れやすいのですが、食い渋い時は、竿の動きを凝視し、ちよつとした竿の動きに反応しなくてはならず、技術の差が出ます。今回は、二日間で互いに二五〇匹以上の釣果で大満足でした。釣り後、民宿の温泉に浸り、公魚の天ぷらや鍋料理を食べてのお酒は格別なおいしさでした。会員皆さんの参加を願っています。



将棋クラブ、園芸(盆栽・山野草)クラブ、保健クラブ、書道クラブ、短歌クラブ、旅行クラブは休部中です。

東 西 南 北

新地地区

コロナ感染は以前よりも落ち着いているようにも感じますが、先が見えない中で、本年度も地区の事業は、全て休止状態です。

相馬地区との合同開催予定の紅葉狩りや今年こそはと考えていた現職校長会との懇談会も開催できませんでした。懇談会については、現職の校長先生方との意向も踏まえての判断となりました。

ここ数年、各学校の校長先生方との接点がありません。校長会との交流も含め事業展開に名案はないものかと思うこのごろです。

(吉田 雄二)

相馬地区

相馬市退職校長会は、九月に現職校長との合同研修会「重陽会」を計画しましたが、新型コロナウイルス感染者や感染生徒の増加で残念ながら中止しました。又、十一月に予定した

南相馬市鹿島区

「紅葉狩り」は、十月七日(土)に理事会を開き協議した結果、新型コロナウイルス感染者の増加や、インフルエンザ感染者の増加もみられ、やむなく中止しました。来年度は、それぞれの行事を、是非開催したいと思えます。その時には、出席をよろしく願います。

(吉内 次夫)

南相馬市鹿島区

今年度は、あまり欲張らず、できることを実施しようということになりました。

一、区総会(四月八日)

鹿島交流センターで実施して、記念写真をとりました。

二、パークゴルフを楽しむ会 希望者で行いました。

三、元気なたより発行 会員の日々の様子を冊子にしました。

四、忘年会(十二月六日) 松川浦のかんのや旅館で

昼食会兼忘年会を実施して、楽しいひとときを過ごしました。十一名の参加でした。(大谷 一裕)

南相馬市原町区

九月に第一回役員会を開催し、秋の紅葉狩り研修会の開催とクラブ活動費の見直し等を協議しました。

四年ぶり開催の秋の紅葉狩り研修会(パークゴルフ)は十一月九日参加者十一名で行いました。優勝高倉胤尚氏、準優勝鈴木進一氏、第三位大石力弥氏でした。

秋の好天の中、笑顔あり、悔いる顔ありの楽しい一日となりました。夕方からは会場を変え懇親会を開催、昼間以上に盛り上がったことは当然です。

三月に第二回役員会を開く予定です。(山邊 彰一)

今年度は五月十三日に浮舟文化会館において総会を行いました。現職の校長先生との懇談会の実施や小高区の退職校長会の会報「黒松会だより」の発行などについて協議されました。

今年度はコロナが5類となり、少し落ち着いてきたようですが、インフルエンザの流行も懸念されること

などから、現職校長先生との懇談会を実施を見合わせています。「黒松会だより」は、寺岡先生にまとめていただき、会員の皆様の近況や思いを冊子にして年内に発行する予定です。

(金谷 哲)

南相馬市小高区

今年度は五月十三日に浮舟文化会館において総会を行いました。現職の校長先生との懇談会の実施や小高区の退職校長会の会報「黒松会だより」の発行などについて協議されました。

今年度はコロナが5類となり、少し落ち着いてきたようですが、インフルエンザの流行も懸念されること

などから、現職校長先生との懇談会を実施を見合わせています。「黒松会だより」は、寺岡先生にまとめていただき、会員の皆様の近況や思いを冊子にして年内に発行する予定です。

(金谷 哲)

今年度は五月十三日に浮舟文化会館において総会を行いました。現職の校長先生との懇談会の実施や小高区の退職校長会の会報「黒松会だより」の発行などについて協議されました。

故 大槻 邦雄先生(89歳) 令和5年9月18日逝去
昭和32年福島大学卒。同年大熊中学校を振り出しに中村二中、草野中、中村一中、尚英中に勤務。昭和57年草野小学校教頭に昇任。原町二中教頭を経て、昭和63年大堀小学校長に昇任。石神中を経て、平成6年向陽中を最後に退職。
故 佐久間光弘先生(78歳) 令和5年9月22日逝去
昭和42年福島大学卒。同年須賀川市立第一中学校を振り出しに、相馬地方の各中学校や富岡養護学校教諭を経て、平成9年津島中教頭に昇任。原町三中教頭を経て、平成15年いわき市立内郷第三中学校長に昇任。平成17年同校で退職。

故 高橋 義一先生(101歳) 令和5年10月14日逝去
昭和19年福島師範学校卒。同年大館村国民学校指導を振り出しに、大館中、原町一中教諭等を経て、昭和35年草野中教頭に昇任。小高中教頭を経て、昭和43年飯樋中学校長に昇任。原町二小、原町二中を経て、昭和57年原町一小校長で退職。
故 村田 達夫先生(97歳) 令和5年11月15日逝去
昭和22年東北大学卒。同年相馬商業学校(後に原町高校)の地方教官を命ぜられ、以来二十五年間同校に勤務。双葉高校教諭等を経て、昭和53年棚倉高校教頭に昇任。小高工業高校を経て、昭和59年富岡養護学校長に昇任。昭和62年同校で退職。
故 中野 敏光先生(85歳) 令和5年12月21日逝去
昭和39年千葉工大電気工学科卒。同年勿来工高講師採用、同40年教諭任用。福島工高、教育センターに勤務。平成元年郡山北工高教頭に昇任。小高工高教頭を経て、平成4年同校校長に昇任。勿来工高を経て、平成12年二本松工高校長で退職。

退職校長会郡山大会の発表について

吉田 雄二

去る六月十六日に開催された福島県公立学校退職校長会郡山大会で、私どもの障がい者就労支援事業の現状と課題について発表いたしました。

その内容は、八月二十三日付「松風 郡山大会特集号」に掲載されています。ご覧になったかと思いますのでここでは概要を紹介させていただきます。

私が勤務している社会福祉法人スマイルワークは、本年度で創立二十五周年を迎え、先ごろ関係者とともに祝賀行事を終えたところであります。現在、就労継続支援B型事業所スマイルセンターで二十八名の利用者の皆さんを対象として、生産活動を中心に相談や生活全般の支援を行っています。幅広い年齢層の方々が施設内や企業に向いての作業に従事しています。

支援する上で私たちが特に大切にしていることは、利用者の皆さんにとって、今日を楽しみ明日が待たれ

る施設となるよう、障がいの程度にかかわらず一人ひとりの可能性を絶えず追求する姿勢です。

そのために、障がいや特性に対応した作業工程の工夫や作業方法等の視覚化、補助具の開発といった「できる状況づくり」とともに、自己選択や自己決定を重視し「達成感や成就感を得得できる支援」に努めています。

また、虐待防止の徹底を図ることもサービスの質を向上させるために必要不可欠です。虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会の機能化を図り、職員行動指針に沿った支援の検証、研修会の開催等を通して、実効性のある取組につなげているところです。

今春、生活介護事業を開始し、いくつかの課題も出てきました。一つ目は、利用者、職員の異動による作業内容の再編と新規作業の導入を図る必要がある。二つ目は、一般就労に向けた

支援を充実させるため、地域の事業所のネットワークづくりを進め企業実習先の開拓積極的な情報提供等、一般就労に向けた支援の充実を図る。三つ目は、支援を受けながら地域で自立的な生活ができる体制づくりを進めるため、他事業所間の連携、行政等関係機関との連携をさらに強化する。

今後とも、課題を一つ一つ解決しながら利用者の皆さんに寄り添った支援の充実を図っていきたいと思います。

事務局から

会員の皆様のご協力に感謝申し上げます

令和五年四月二十四日に、相馬市の教育実践センターで、前年度までの支部長、庶務、会計の方々より事務引き継ぎを受けましたが、過去十年分の本会の関係書類は、車のトランクや後部座席だけでは収まりきれないような状態でした。また、引き継ぎの内容も、耳慣れない言葉が多く、その都度、引き継ぎ文書を読み直しながら、仕事を進めているところでした。

さて、会報については、各地区の庶務担当の方々を通して世話人の方々から会員の皆様に配布頂いているところですが、何かとお忙しい中でのご協力に心より御礼申し上げます。

また、トルコ大地震への募金活動においても、各地区の地区長さんや各クラブのクラブ長さんにもご協力を頂き、重ねて御礼申し上げます。

現在、次年度の総会に向けて、三役会、理事会などの準備に取り組んでいるところであります。引き続き、皆様のご協力をお願い致します。

誠にありがとうございます

ごぞいいます

◆ 文部科学大臣感謝状
小学校教育功労者

山下 富夫様
(元 桜丘小学校長)

◆ 高齢者叙勲

荒川 澄様
(元 八沢小学校長)

目黒 正様
(元 真野小学校長)

武田 昭様
(元 中村第二中学校長)

吉田 健美様
(元 小高小学校長)

◆ 賀寿(満95歳)

山野辺 久様
(元 浪江東中学校長)

◆ 賀詞(満88歳)

吉田 健美様
(元 小高小学校長)

長階 大様
(元 福田小学校長)

◆ 喜寿(満77歳)

菅野 正敏様
(元 原町第二中学校長)

今野 哲生様
(元 上真野小学校長)

佐藤 彦一様
(元 安積黎明高等学校長)

加藤 潤一様
(元 新地小学校長)

堀川 理洋様
(元 飯豊小学校長)

堀川 利夫様
(元 中村第一中学校長)

松本 安彦様
(元 鹿島小学校長)

文芸

俳句

草野 博夫

新じゃがのカレーライスで
昼食す

立秋や頑固な草の根を笔る

茗荷漬頭に良きと語り継ぐ

雑草より勝る力や茄子胡瓜

草焼きし石油バーナー冬の畑

金谷 哲

障子貼る妻リズムよく
刷毛叩く

大鯿が跳ね海光の煌めけり

お土産は富士の箸置今年米

鴨どち丸き毛玉や土手歩む

陽が落ちて無人駅のそぞろ寒



江井 芳朗
冬迎ふ菠稜草へ篠被ひ

つくづくと平和や畑で
菊花摘む

亡き妻の手袋小さく
恋しかり

西風を揺り籠として
辛夷の芽

冬銀河戦絶へざる星なりき

川柳

山野辺 久

青空が僕の心を丸くする

待つことに慣れて暮らしも
波立たぬ

呆け頭せめて笑顔は
忘れまい

晩節は無風地帯の里がいい

折り合いをつけて平和の
席に居る

前山 利栄

キラキラの汗だ
災害ボランティア

いただきます高いサンマに
手を合わせ

夢で会う妻はいつでも
笑顔です

上爛だ鍋もグツグツ
うつつふ

野良猫が授乳中です
お静かに

安良 紀男
古い進み人恋うことが
多くなり

一杯の酒で本音が
口を割り

出来そうもない抱負並べて
四苦八苦

深々と票に頭を
下げている

彫刻

大黒天像

伊達 孝行



健康という幸せを
すぐ忘れ

名はビッグ不正はせこく
地に哭す

遺影より叙勲メダルが
場を占める

増えるなら移住厚遇
墓場まで

年賀状時代遅れと
言う昨今

馴れ初めは真っ赤な糸と
信じた

写真の大黒天像は、ひばり生涯学習センターの文化祭に出品したものです。大黒天のルーツはインド神話のマハーカールラで、日本の民族信仰と習合して五穀豊穡や開運、出世、財運向上などの神様とされています。

寺院や神社に祀られていますので、手を合わせてみてはいかがでしょうか。

編集後記

秋に始まった編集委員会を経て、今号もなんとか皆さまにお届けすることが出来ました。

ちなみに、この編集後記は十二月上旬に書いています。令和五年の流行語大賞は、阪神岡田監督の「A・R・E」。間もなく一年の漢字も発表になります。どの漢字になるのでしょうか。改めてこの一年を振り返ると、さまざまな出来事がありました。コロナの扱いが変更になりましたが、終息の見通しは「？」です。紛争も先行きが全く見えません。月初めは値上げのニュースが恒例になりました。会員の皆さまも何かと窮屈な日々かと思えます。

令和六年こそ平穏な一年でありますように。

編集委員

- 但野 良子(新地)
- 伊藤 浩樹(相馬)
- 鎌田 由人(鹿島)
- ◎杉内 律子(原町)
- 寺岡 弘之(小高)